
身体の構造と機能

橋爪 洋 教授
水越 正人 教授
森岡 郁晴 教授

1 年次通年・必修

2 単位・60 時間

【概要・目的】

講義と実習を通して構造(解剖)と機能(生理)を関連づけながら、正常な人体の成り立ちを理解する。疾病や病態の理解のためには、正常な人体の構造・機能に関する正確な知識を習得することが必要となる。

【到達目標】

人体の構造と機能について説明し、さらに疾患との関連を示すことができる。

【授業内容のスケジュール】**(担当)****【前期】**

1, 2) 人体：オリエンテーション・化学の基礎	水越
3, 4, 5) 細胞と組織・皮膚と膜	水越
6, 7, 8) 骨格系・筋系	森岡
9, 10) 内分泌系	水越
11, 12) 呼吸器系	橋爪
13, 14) 消化器系と代謝	橋爪
15) 組織実習	全員

【後期】

1, 2, 3) 神経系・特殊感覚	橋爪
4, 5, 6, 7) 血液・リンパ系と生体防御機構	森岡
8, 9, 10, 11) 心臓血管系	水越
12, 13) 泌尿器系	森岡
14) 生殖器系	森岡
15) 系統解剖学実習見学	全員

【評価】

筆記試験 (80%)、出席状況 (10%)、提出物 (レポート等) (10%)

前期・後期にそれぞれの講義内容について筆記試験を行い、評価は通年で判定する。

【教科書】

エリン N. マーブ 著「人体の構造と機能」医学書院 2015 年 (第 4 版)

改訂の場合は発行最新版を使用

【その他】

医学および看護のテキストを読み、解剖・生理と疾患のつながりを理解すること。